

ゆめスクールプラン南部地区推進委員会だより 第2号

諏訪市教育委員会 教育総務課

基本構想策定に向けたグループワークを行いました。

第2回の「ゆめスクールプラン南部地区推進委員会」が10月24日（火）に四賀小学校で開かれました。第1回の推進委員会では、四賀小学校、中洲小学校、諏訪南中学校を含む南部地区3校を中心的な対象として、現在の諏訪南中学校の敷地を活用し、施設一体型小中一貫校として再編・整備することを目指すことが決定されましたが、第2回では、「再編整備を進めるにあたって」再編推進委員会の委員の皆さんが考える課題を抽出し、その課題を解決するためのアイデアを5グループに分かれ、グループワークで考えてもらいました。



〈グループワークの内容〉

委員の皆様から出された主な課題や解決案 赤字は解決するためのアイデア

○大規模学校

- ・大規模な学校になることへの不安
- ・中学生から小学生への影響
- ⇒1クラスの人数を少人数に(30人以内)
- ⇒毎年クラス替えとクラス選択制の導入
- ⇒小中の建物を分ける(施設や配置の工夫)
- ⇒施設一体であっても小・中専用施設の設置

○通学区

- ・学校規模に考慮した通学区の整備
- ・居住地区と通学区の関係性の整理
- ⇒通学区の整理
- ⇒南部地区だけの問題ではなく、東部地区や西部地区とのバランスを重視する
- ⇒四賀地区は同じ学校に通学する(現在諏訪中に通っている武津、細久保、普門寺)
- ⇒通学区の自由選択性(ただし地区子供会には別の学校を選択した子供も参加可能とする)

○施設

- ・地域の人が使える校舎、交流スペースの設置
- ・休日の学校開放(図書館、体育館、校庭)
- ・多様な子供たちに対応できるような校舎の整備
- ・給食の自校方式
- ・防災面の検討(校舎・体育館)
- ⇒2階建て体育館の設置(1F小学生、2F中学生)
- ⇒壁を可動式にする
- ⇒教室を区切らずオープンなスペースにする(子供たちが学びたいスタイルで学べるようにする)
- ⇒給食センター並の施設を整備
- ⇒防災対策を考えた設備の整備

○人間関係

- ・人間関係の固定化、いじめ対策、先生への不安
- ⇒ソフト面の充実(スクールロイヤー、スクールカウンセラー、支援員の配置、上級生によるメンター制の導入)
- ⇒1~2名の小人数が学習できる部屋や相談室の設置

○多様性と支援

- ・児童・生徒の多様性、不登校、支援が必要な子供たち、小中一貫による子供達のストレスケア
- ⇒インクルーシブ教育の推進、スクールソーシャルワーカーの導入

○敷地

- ・敷地が狭い
- ・教育活動を保証するための施設整備(グラウンド・体育館・教室・部活動・駐車場)
- ⇒用地買収を最優先(施設配置は土地に合わせる)
- ⇒駐車場の確保(送迎、学童、教職員)
- ⇒スクールバス導入ならロータリーが必要
- ⇒学校が大事にしてきた畑やカリンの木などの維持
- ⇒南中周辺にこだわらない

○小中の格差

- ・体格差やパワーバランスに配慮
- ⇒小中一貫教育の先進事例の導入
- ⇒小中それぞれの校舎整備、共有エリアの区分け
- ⇒小中の時間軸の区分け

○PTA・同窓会

- ・PTA組織、同窓会組織のあり方、会費、組織体系をどうしていくのか
- ⇒3校のPTA、同窓会、コミュニティスクールで話し合う
- ⇒先進事例の収集

○跡地

- ・四賀小・中洲小跡地の有効利用
- ⇒中洲小跡地は部活、行事等に活用
- ⇒何を残していくのか

○通学路

- ・通学路が危険
- ・低学年の通学距離・安全面
 - ⇒危険個所の洗い出しと低学年目線での安全対策
 - ⇒歩道、横断歩道、歩道橋、自転車道などの安全対策
 - ⇒線路、国道、河川、商業地などの安全確保
 - ⇒スクールバスの導入、かりんちゃんバスの利用
 - ⇒見回り隊の配置（外注も検討）

○その他

- ・学校名、学校像、地域住民の合意、計画案の説明や公表、建設期間中の南中生徒の学習環境の保障(グラウンド他)、制服、ジャージ、保育施設、フリースクール、部活、社会体育など

今後、委員の皆様から出された課題や解決策を整理し、再編整備に向け、基本構想へ反映させます。

“歩みを拓く” 3校の生徒・児童 その②

☆「南中体育応援委員長より中洲小、四賀小へ大縄8の字跳びへの挑戦状！」

四賀小学校もこれから挑戦予定です。

諏訪南中学校 八の字跳び(3分間)最高記録

小学生のみなさんはわたしたちの記録をごえられるかな？ぜひ、チャレンジしてみてね！

1年生…103回
(5分間だと…171回くらい)
2年生…136回
(5分間だと…226回くらい)
3年生…156回
(5分間だと…260回くらい)



中洲小学校 大縄クラスマッチ(5分)記録

1年生・・・40回	4年生・・・232回
2年生・・・79回	5年生・・・139回
3年生・・・96回	6年生・・・293回



中洲小学校の記録を見て、委員長は「小学校のみなさんと大縄跳びを通して交流できればと思い、企画しました。大縄跳びなら、小学校のみなさんとも戦えると思い、挑戦状という形で送りました。早速、挑戦状に応じてくれてありがとうございます。中学生も頑張らないと…(ToT)」

☆「高齢者の皆さんを励ましたい とどけ私たちのメッセージ！(1人暮らし“約300”世帯)」

「こんにちは。10月20日に音楽会があり、「生きる」という歌を歌います。その中の『生きることは、かんたんであり、一番むずかしいことでもある。』が私にとって一番好きな歌詞です。音楽会でも、しっかり歌詞の意味を考えながら、歌いたいと思っています。そして、つらいことも悲しいことも乗り越えていきたいと思っています。～中略～

話は変わりますが、だんだん寒くなってきましたね。お体に気をつけて生活してください。」(小学校5年)

昨年度、中洲小学校で行われていた地域の高齢者との交流行事を、本年度小中一貫教育学校となったこの機会に、3校合同で実施しました。今回は、児童生徒一人一人が日々の生活に寄せた思いや児童会生徒会の活動の様子を乗せたメッセージを、中洲・四賀両地区の民生児童委員の皆さんに届けていただきました。

「今回、このような高齢者の方と交流をする活動・機会があることを初めて知りました。今後は今回の交流を通して、さらに様々な形で地域との交流を深めていきたいです。」(中学生3年)



「小中学生からのメッセージ
引き渡しの会」 於：諏訪南中学校

■ご不明な点やご意見、お問い合わせは下記連絡先までお願いします。

<連絡先> 諏訪市教育委員会 教育総務課 教育企画係

TEL : 52-4141 (内線469) FAX 53-8299

E-mail : kyoiku@city.suwa.lg.jp

第3回推進委員会の予定

12月15日(金) 19:00～

場所：中洲小学校